

飛驒・高山観光コンベンション協会 会報

飛驒高山の四季

題字 高山市名誉市民 平田吉郎 元高山市長

飛驒高山の旧城下町を 世界文化遺産に

一次の、次の次の世代のために



第10回飛驒高山フォトコンテスト優秀賞作品「月夜の氷点下の森」丹羽明仁さん(愛知県)



新年明けましておめでとうでございます。会員の皆様には、ご家族お揃いで新年をご健勝でお迎えのこととお慶び申し上げます。長かったコロナ感染症の猛威もようやく終息し、日常が戻る中で観光客の姿も戻り、長年取り組んできた観光客誘致の成果等により訪日外国人の姿も多く見受けられ活気を取り戻しております。これも観光に対する会員の皆様のご尽力、市民の皆様等のご理解やご協力の賜物と感謝御礼申し上げます。

コロナ感染症は、市民生活にも様々な影響を及ぼし大きな変化をもたらしました。特に、経済活動の中では人材不足が顕著で、今まで安定的に企業活動が行われてきた中で、コロナ禍で離職した人材をどう確保するか、私たち観光業にとっても引き続き大きな課題となっております。また、外国人観光客の増加や域外資本からのホテル、新しい飲食店等の進出が相次ぐ中で、好調な中にも人材不足と合わせて若者の市外流失等が続き今後の地域経済全体の発展に不安が残るところです。合わせて、従業員の働き方改革にも焦点を当てしつかりとした対応を行わなければなりません。

国では、こうした地域の課題を解決する一つの政策として、民間の力による活性化を目指し「観光地域づくり法人(DMO)登録制度」を積極的に進めています。市内では、当協会がこの指定を受けており、国、県、市等からDMOに対し様々な政策の提案等が示されており、市は昨年4月に「観光を活用した持続可能な地域づくり」方針を策定。その実現を図るため当協会としてその趣旨を共有し、DMOとして「飛驒高山観光」発展の役割を果たすため、その指針となる新たな「観光ビジョン2025」を策定しました。

「観光ビジョン」では、「かけがえないこの日常が私たちの宝もの」をテーマとして中心に据え、市民、来訪者が「住んでよし、訪れてよし」が実感できる地域を目指し、「自然、文化、環境」の3つの柱を基本コンセプトに掲げ、事業を推進していきます。

また、引き続き、官民一体として市との連携を図り「観光ビジョン」を柱に「飛驒高山観光」の情報発信について、SNS利用に重点を置き飛驒高山観光公式ホームページの充実を図るとともに、メディア、雑誌、交通広告を実施し、特にリピーター客の多い中京圏を始め、首都圏、今年開催される「大阪・関西万博」を見据え関西圏を中心に実施します。デジタル技術の普及の中で広告宣伝の方法も大きく変化し、情報発信は個人が直接できる時代の中で会員の皆さんには是非、飛驒高山の誘客を図るため「#飛驒高山」の冠を付け様々な情報を発信していただきたいと思っております。

一方、高山市を取巻く道路整備「中部縦貫自動車道」の工事は、高山市側、福井県側とも鋭意進められており、特に福井県側の全線開通が待たれるところです。福井県側の観光施設(永平寺、恐竜博物館、一乗谷朝倉氏遺跡、越前がに等)が身近なものとなり、北陸新幹線の敦賀までの延伸開業と相まって新しい飛驒高山を起点(ハブ)とする観光ルートの構築に期待が寄せられるところです。

今年も、この飛驒高山を起点とする観光ルートの構築、充実及び松本高山Big Bridge構想の実現に向け重要な事業として位置付け力を入れてまいります。

このように当協会が、成長が見込まれるインバウンド需要を取り込みDMOとして観光地経営を担い、マーケティングや受入れ態勢整備等を行い「持続可能な地域づくり」を実現していくためには、一定の財源が必要であることから、様々な角度から検討する中で新しい税制度「宿泊税」導入が最適であると判断し、各界の賛同も得て高山市及び高山市議会に対し昨年3月に「早期導入に係る要望書」を提出し、現在鋭意検討をいただいております。

コロナ禍後の、またデジタル技術の急速な普及等による社会変化の中で、その変化に対応する力を養いこれからの「高山のまちづくり」を会員の皆さんを始め市民の皆さんと共に考え行動しなければならぬと思っております。当協会に寄せられる期待は、今以上に大きく引き続き地域活性化に寄与すべきその役割を積極的に果たさなければなりません。

今年も皆様のご協力、お力添えをお願いするとともに本年が皆様やご家族様にとって更に良き年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

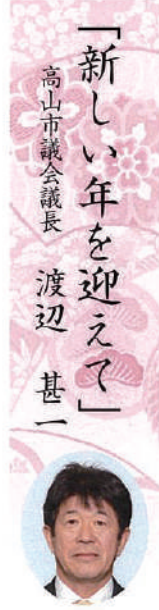


高山市長 田中 明

令和7年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日ごろ、飛驒・高山観光コンベンション協会役員並びに会員の皆様には、観光事業の推進などを通じて、地域経済の発展や活力ある地域づくりに多大なるご尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、昨年を振り返りますと、元日に発生した自然災害地震や度重なる豪雨災害など、国内外で発生した自然災害により被害を受けられた方々の様子を伺うたびに心を痛めることの多い一年でありました。改めて、被害を受けられた皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。幸いなことに、本市では大きな被害はありませんでしたが、国際観光都市飛驒高山として認知度が高まり、今後も多くの国内外のお客様にお越しいただくためには、市民の皆様はもとより、来訪者の皆様の安全安心の確保についても、十分に準備



「新しい年を迎えて」
高山市議会議員 渡辺 甚一

あけましておめでとございます。市民の皆様にはこのころ穏やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年の日本経済はデフレ経済、失われた30年などと言われ停滞していましたが、少しずつ成長経済へと変化しつつあります。加えて円安や海外での軍事衝突などの影響などもあり、物やサービスの値段が上がっているといったニューズも頻繁に耳にしています。物価上昇だけでなく、少子高齢化、働き手や担い手の不足など我々を取り巻く社会情勢にはまだまだ課題が多く存在します。関係者の皆様

備を行う必要があると考えており、令和6年度事業として観光庁の補助を活用しながら、観光地における危機管理体制の在り方について検討を進めているところでです。

さて、本市の観光の状況につきましては、コロナ禍に伴う各種制限が緩和されて以降、順調に回復し、令和6年の観光入込客数はコロナ禍前のピークであった2019年と同等の勢いであったと感じております。これもひとえに、半世紀以上にわたり取り組まれてきた、地域一体となった観光誘客やまちづくりの取り組みの成果であり、厳しいコロナ禍を力を合わせて乗り切っていた市民の皆様のご努力の賜物であると改めて感謝申し上げます。

そして、令和7年は「観光を柱にした地域経済から、持続可能な地域づくりのために観光を活かすまちづくり」の実現に向けた具体的な取り組みを進める重要な一年となります。

これまで宿泊事業者の皆様のご理解のもと、導入に向けて準備を進めている宿泊税については、10月からの徴収に向け、今後具体的な準備を進めてまいります。この宿泊税を財源とし、観光振興だけでなく、環境保全事業や文化振興事業、そして危機管理事業といった市民生活との調和に

の声を聴きながら、物価上昇に対する市民生活や市内経済への影響を見極めつつ、課題の解決に向けた取組みを進めていかなければならないと強く感じています。

私たちの議会活動においては「信頼」という言葉を大事にしていきたいと考えています。みなさんご存じのように「信」は「人」と「言」を組み合わせた形式文字で「まこと」を意味します。人同士が約束を交わすということです。「頼」は「たのむ」、「たよる」という意味をもちます。私たち議会にとつて「信頼」とは市民の皆様からの信用を意味し、私たち議員との関係を支える重要な要素です。市民の皆様の間で、そのことをしっかりと聴き取り、一つひとつの意見を束ね、そのことがより良い施策につながり実現されていくように、また正しい方向に向けていくことで、皆様に「市議会はちゃんと伝えたことをやってくれているな、頼りにしているんだな」と思っていただけのように、議員24名の方

に向けた事業に活用するほか、行政との役割分担の明確化による観光地域づくり組織の機能強化を進めることで、持続可能な観光地域づくりに力を入れてまいります。

観光客の急激な回復により、全国的なオーバーツーリズムに対する懸念や新たな課題が明らかになる中で、「住んでよし、訪れてよしの持続可能な地域づくり」を実現するため、様々な施策を積極的に展開し、市民の皆様「この町に住んでいてよかった」と、また、訪れていた皆様にお客様に「飛驒高山に訪れてよかった」と、心から感じていただけるようなまちづくりを進めることが、本当の意味での持続可能な地域づくりであると考えております。

本年も貴協会と力を合わせ、一丸となって持続可能な地域づくりに取り組む所存ですので、皆様の変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年が、会員の皆様お一人おひとりにとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

を結果してこれからも議会活動を行ってまいります。

今年の干支は「乙巳(きのとみ)」です。変化や成長を象徴すると言われていきます。社会情勢に対し、柔軟な思考と対応していく力が求められますが、創造的なアイデアやプロジェクトが生まれやすく、新しいことに挑戦し、成長するための良い年とされています。市では第九次総合計画の策定が進められています。この計画は高山市の今後の10年の方向性が示される重要な計画で令和7年度からの計画です。今年はその一年目となりますが、絶好の干支だと感じています。高山市にとってふさわしい変革と成長を遂げ、未来の輝かしい高山市へと発展を続けていけるよう、市民の皆様とともに取り組んでまいります。

「観光ビジョンを実現するための新たな財源を検討するプロジェクトチーム」を設置

明確なコンセプトに基づく経営戦略いわゆる「観光ビジョン」を策定しその実現のための新たな財源案を検討する目的で令和5年12月に「観光ビジョンを実現するための新たな財源を検討するプロジェクトチーム」(行政、観光及び宿泊関連団体、経済団体並びに観光動向などに精通した有識者など17名で構成)を設置し、これまでに6回協議を重ねてきました。

観光ビジョンでは、タイトルを「飛騨高山観光ビジョン2025」2029 かけがえのないこの日常がわがわたしたちの宝物を「圧倒的な自然環境のもとで、本物の文化・伝統が根付く市民の日常が将来にわたって持続可能な地域であり続けること」としています。



飛騨高山観光ビジョン2025～2029 かけがえのないこの日常がわがわたしたちの宝物

観光振興施策のコンセプトは「自然・文化・環境」を3つの柱とし「ハブ化(高山を拠点とした周辺観光など)、滞在型(食事、体験型商品などの強化)、インバウンド(海外からの高付加価値層などのターゲット化)、MICE(国内外の会議や大会など)」の4つを具体的な戦略としています。また、市民の「日常満足度などの検証、観光に対する価値観や課題の共有、地域への誇りや愛着性の醸成」など市民目線での施策にも取り組んでいきます。

また、昨年3月には観光ビジョンの実現に向け「宿泊税の早期導入にかかる要望書」を高山市及び高山市議会に提出し協議が進んでいるところです。

補助金活用事業

グリーン・デザインেশions表彰アワード事業(岐阜県補助事業)

本部がオランダにある国際的な認証機関「グリーン・デザインেশions」が実施する表彰・認証制度「世界の持続可能な観光地アワード」で、高山市が持続可能な観光地として中部地方では初となるシルバリアワードを受賞しました。これは、行政や民間で実施されている小水力発電など再生可能エネルギーの利用促進、高山祭や伝建地区などの文化や伝統が尊重され保存・保護されていること、SDGsに対する民間等の様々な活動などを飛騨・高山観光コンベンション

協会申請し、国際基準にそって審査され評価されたものです。国内ではこれまでに岩手県釜石市(ゴールド)、北海道ニセコ町(シルバー)が受賞しており、今回、高山市、愛媛県大洲市、香川県小豆島の3地域がシルバーを受賞しました。



受賞のメリットは、国際的な知名度や観光地としてのブランド力の向上、地域経済の活性化のほか、これを契機にさらなる環境保全や地域の文化保護に対する取り組みが促進されることなどが期待できます。今後は、同認証機関の継続的な審査を受け引き続き持続可能な観光地づくりの推進を図ってまいります。

金森長近公生誕五〇〇年記念

桜山八幡宮神事体験プレミアムディナーと飛騨高山のはじまりを訪ねる町なかウォークルートコンテンツ開発事業(観光庁補助事業)

新たなコンテンツ開発の一つとして、10月30日(水)に桜山八幡宮にて、袴や着物を着、本殿参拝・お茶席体験・高山祭屋台台会館特別拝観や料亭萬代の代々受け継がれた料理と地酒の食文化体験のほか、三味線や鐘の芸事体験など、文化の魅力を深掘した体験事業を行いました。また、観光客の分散化を図るため、地域通訳案内士の育成も合わせて「高山駅(金森長近公を祀る金龍神社・松倉城址)」「高山駅(飛騨国分寺)」「大新町周辺(越中街道)」「下町(上町)」を新たなウォークルートとして設定しました。今後も高山の歴史的背景に基づいた魅力を国内外に発信していきます。



訪日外国人旅行者等の受入に係る市内飲食店の現状調査及び実証事業(観光庁補助事業)

インバウンドの増加等により市内の飲食供給量や受け入れ課題など現状を把握するため、行政、高山飲食業組合、名古屋大学、飛騨高山フードバリアフリー協議会との連携協力により、9月・11月に飲食店アンケート調査を実施

し分析を行っています。今後は、分析結果に基づき、関係団体と協議し諸課題に対する対応を協議してまいります。

世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制整備事業(観光庁補助事業)

当協会は、観光地づくり法人(DMO)として平成29年11月28日に登録認定されており、今回、DMO・観光政策幹部が知っておくべき理論と実践について、京大オリジナル(株)とDMO推進機構の講師により、現地(2回)やリモート(14回)による講義を受け、DMOとしての体制強化に努めています。

日本遺産「飛騨匠の技・こころ」デジタルとリアルクロスチャネルによる魅力増進事業(文化庁補助事業)

日本遺産「飛騨匠の技・こころ」のストーリーや、市内に点在する構成文化財の魅力、モデルコース、飛騨春慶や一位一刀彫などの日本遺産へ直接納税できる地域通貨「さるぼほコイン」と連動した現地決裁型ふるさと納税などを紹介する、オリジナル冊子「ふるさと特別編集版」をデジタルとリアル双方で制作するほか、NFTアートを活用し、集客や消費拡大に努めています。

高山市文化財総合活用推進事業(文化庁補助事業)

飛騨・高山観光コンベンション協会、久々野及び一之宮のまちづくり協議会、宮笠保存会、有道しゃくし保存会、小屋名しよけ保存会、市教育委員会が構成する高山市文化遺産活用実行委員会が事業主体となり、先人から受け継がれ継承されている工芸品・民芸品を高山市のブランド戦略に基づき次世代への普及を目的とした事業です。今年度は一之宮町の「宮笠普及啓発事業」として、市内ホテル等と連携し宮笠貸出イベントや9月に高山市民文化会館において「宮笠シンポジウム」を開催し宮笠紹介ムービーの放映や文化資源等の専門家によるトークディスカッションが行われました。なお、令和7年度は「有道しゃくし」、令和8年度は「小屋名しよけ」の普及啓発事業が予定されています。



地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業 観光庁補助事業)

奥飛驒温泉郷観光協会や奥飛驒エリアの観光施設等と連携し、奥飛驒温泉郷の中の、福地・平湯温泉をコアエリアとして、また、北アルプス登山の拠点となる新穂高エリアをサブエリアとして、温泉と自然と観光に触れる滞在型観光地を目指す地域計画の作成や、宿泊施設の改修整備を行っています。

奥飛驒温泉郷での新たなE・Bikeインバウンドツアー造成による観光コンテンツ整備事業(観光庁補助事業)

奥飛驒温泉郷観光協会では、観光庁「地域観光新発見事業」を活用した奥飛驒温泉郷における新たなE・Bikeインバウンドツアー造成による観光コンテンツ整備事業を行い、エリア内の魅力を伝える動画制作や情報・魅力発信等を行っています。

動画では、E・Bikeレンタルにおける注意点や操作方法などを紹介(日本語・英語)し、事前に視聴いただくことでレンタル受付時の説明を簡略化できるとともに、服装や運転ルールを事前に確認していただくことで、運転マナーや事故防止の安全対策を強化しています。



飛驒高山観光公式サイトリニューアルオープン!

令和6年2月21日、飛驒高山の観光情報を提供する飛驒高山観光公式サイトが「飛驒高山旅ガイド」としてリニューアルオープンしました。旬の話題やモデルコース、体験、グルメ、宿泊など従来からある情報に加え、新たな取り組みとして市民ライター制度を導入しました。公募で集まった市民4名がライターとなって、市内の様々な魅力をそれぞれの目線で発信、高山を訪れる方々が快適で充実した時間を過ごせるよう日々最新の情報を掲載しています。

また、協会会員専用ページでは、セミナーや補助金の

ご案内のほか、当サイトのページビュー数や人気ページランキングなど会員専用の情報を提供していますので、ぜひご覧ください。なお、この専用ページを閲覧するには同封した用紙に記載してあるIDとパスワードが必要になりますのでご注意ください。

(お知らせ)

- ①体験ページは有料掲載となっておりますので掲載希望の方はお問い合わせください。
- ②サイト内の写真や情報を更新したい方はご連絡ください。
- ③協会の皆様へ有益な情報を提供するため、Eメールアドレスの登録にご協力ください。



台北国際旅行博に出展

飛驒高山国際誘客協議会(市、観光協会、ホテル、観光関連団体、金融機関などで構成)として、令和6年11月1日〜4日に台湾・台北市で開催された「台北国際旅行博(ITF2024)」に出展し、約36万4千人を超える来場者で賑わいました。

高山市及び周辺観光地の観光プロモーションを実施するとともに、台北市の旅行会社9社を訪問し、多くの台湾の方々や旅行会社に高山の魅力を紹介しました。



また、旅行博会場において、観光プロモーションとあわせて当協議会で募った「令和6年度台湾東部沖地震」支援金を台北市旅行商業同業公会の総理事長を通じて徐花蓮県知事にお贈りしました。

ツーリズムEXPOジャパン2024に出展

9月26日(木)〜29日(日)に東京ビッグサイトで開催された世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2024」に出展し、約18万人を超える来場者がありました。

ブースでは、北陸・飛驒・信州3つ星街道誘客推進協議会(高山市、金沢市、南砺市、松本市、白川村の行政や観光協会などで構成)として各地域の見どころ紹介や特産品の提供を行いました。



高山市としては、地酒や桃ジュース、トマトジュース、くるみよせなどを来場者に提供し、体験コーナーでは、くみひもづくりやさるぼほづくりを体験していただきました。また、商談会では、エージェント15団体に飛驒高山の「人気スポット」「新スポット」「観光施設情報」「アクセス情報」などのコンテンツ紹介を行い新たな旅の提案を行いました。

欧米豪(英語)、台湾香港(中国語繁体字)向け観光パンフレット製作

高山市観光連絡協議会(当協会のほか支所地域の観光協会で構成)では、外国人観光客の高山市への訪問意欲喚起及び旅行者の利便性向上並びに高山市をハブとした広域周遊観光の促進を図るため、旅行者が求める情報を掲載したパンフレットを製作し、現地での誘客事業などに活用していきます。





が高山市内で宿泊を伴う教育旅行に対して、児童生徒及び引率する教職員に対し、一人当たり千円分のクーポンを配布し、観光施設、飲食店、土産品店などで広く利用されています。

飛騨高山教育旅行クーポンの交付

小中学校、高等学校、特別支援学校など(高山市内含む)が高山市内で宿泊を伴う教育旅行に対して、児童生徒及び引率する教職員に対し、一人当たり千円分のクーポンを配布し、観光施設、飲食店、土産品店などで広く利用されています。

旅行ニーズ(トキ消費・コスト消費)や滞在時間延長のための新たな観光コンテンツとして、体験プログラムの造成・事業者の支援による醸成を図り、魅力的な地域づくりを進めるため、国内利用率No1のオンライン体験予約サイトで、国内認知度が高い「じゃらん 遊び・体験」を活用し、オンラインクーポンを発行しています。



第4弾 わくわく体験！飛騨高山の実施

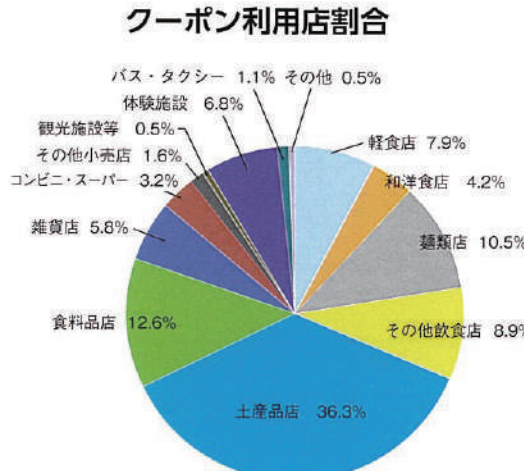
大都市圏からの観光客誘致のため、JR大阪梅田駅、近鉄大阪難波駅、JR名古屋駅及び地下通路など人通りの多い場所に設置してある「デジタルサイネージビジョン」に飛騨高山の映像を放映し、飛騨高山の魅力を発信しています。



全国的な会議・大会・学会等やスポーツ大会を誘致し、地域経済の活性化を図るため、コンベンションの誘致活動を実施しています。

高山市における開催支援(予定含む)件数は、12月現在で、国内の会議・学会等が16件、スポーツ大会が23件、国際会議が1件で、合計40件です。参加者総数は約4万7千人で、昨年度の同時期と比較すると1割以上増

コンベンション事業



区分	人数	件数	件数割合
小学校	176	2	5.1%
中学校	4,862	34	87.2%
高等学校	872	3	7.7%
特別支援学校など	0	0	0%
合計	5,910	39	100.0%

方面	人数	件数	件数割合
県内	934	8	20.5%
東海	2,188	14	35.9%
関東	703	5	12.8%
関西	2,061	11	28.2%
九州	0	0	0%
海外(台湾)	24	1	2.6%
合計	5,910	39	100.0%

(令和6年12月1日受付分)



MICE(マイス)とは、Meeting(企業会議・研修)、Incentive(報奨・研修旅行)、Travel(報奨・研修旅行)、Convention(会議・学術会議)、Exhibition(展示)またはEvent(展示会・見本市)の頭4文字から成る造語で、産官学の各組織がビジネスや学問的なテーマのもとに開催するビジネスイベントの総称です。

MICE(マイス)とは、Meeting(企業会議・研修)、Incentive(報奨・研修旅行)、Travel(報奨・研修旅行)、Convention(会議・学術会議)、Exhibition(展示)またはEvent(展示会・見本市)の頭4文字から成る造語で、産官学の各組織がビジネスや学問的なテーマのもとに開催するビジネスイベントの総称です。

えています。今後、スキー大会なども開催されるため、主催者団体の支援を進めていきます。

また、令和7年度は、700人規模のドッジボール大会や1700人規模の全国私立保育研究大会のほか、県高等教育研究会の開催も決定し、令和8年度には、物理関係の国際会議の開催に向け、現在、主催者団体と調整を行っています。

会議等では、9月下旬に静岡県富士市で開催された「令和6年度中部コンベンション連絡協議会(岐阜県、愛知県、三重県、静岡県、長野県、石川県、新潟県内にあるMICE誘致団体で構成)」に出席したほか、観光庁のコンベンションビューロー支援事業の一環で開催された研修会にオンラインで参加しました。

また、10月中旬にインテックス大阪で開催された「Japan MICE EXPO 2024」にブース出展し、商談会を行いました。関西エリアでの大型規模のMICE EXPOであり、2日間でMICE関係事業者約2800人を超える来場者がありました。約30社との商談ではコンベンション施設の案内や支援制度の説明のほか、アフターコンベンションの魅力を紹介しました。



連載 飛驒の交通 〔二十七〕

越中街道の口絵

江戸時代末の飛驒の各郡、郷、村の様子を詳しく記した『斐太後風土記』の原本が東京の国立公文書館に所蔵されています。ずいぶん前に館を訪れて原本を閲覧し、彩色された口絵の綺麗さに驚きました。地元高山にはその控えが残っていますが口絵は白黒です。

図1と2は越中東街道・今村峠の口絵で、図1には旅する武家の子どもを見送る女性と家臣、傘をさす2人の女性が描かれています。

図2には天秤棒を担ぐ2人の人が描かれています。中身は魚でしょうか。峠の説明では「峰上の眺望、風景の良いこと、国中二つとない」とあります。

図3は飛驒市宮川町林から向かいの同町森安に村民を運ぶ船が描かれました。場所は越中西街道で、右岸の街道から左岸の街道間の渡し船です。船頭2人と村人3人が乗っています。

本文に解説がありました。「船頭が持っている棹は木鋤というものでパンパとも言い、雪を降ろすスコップの役割を果たす道具。舟は大きな丸太を二つに割って削りぬいた丸木舟で、獨木刳舟、うつほふねである」と記されています。これらは民の衣装や生活の様子を描いた貴重な絵で、ほほえましく感じられます。



図1



図2



図3

連載 飛驒の歴史人物史 〔一〇〇〕

数学者 藤下理周

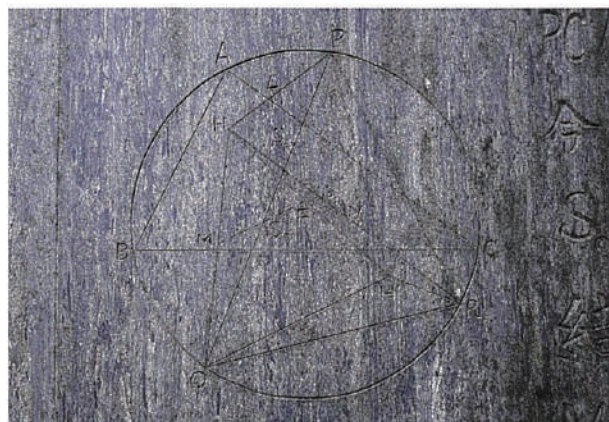
昭和8年、数学の論文「藤下の定理」を発表した藤下理周(明治19～昭和41年、鉄砲町)という優れた教育者がいます。その論文概要を記した献納碑が高山市松本町の住吉神社境内地にあります。

当時、理周の盟友で同じく数学研究者の垣水寿太郎(高山市山口町)はこの論文が知られていないことを惜しみました。理周に石碑での献納を奨めました。昭和35年、理周は親元(松本町)の氏神である住吉神社に建立しました。内容はかなり難しい幾何学で、高度な数学論文です。

〈碑の図〉三角形ABCとその垂心Hが描かれ、もう一つの三角形PQRの垂心Hが直線で結ばれています。その線上にF地点がありますが、ある条件の下でSP、SQ、SRというシムソン線(シムソンの定理・美しい数学といわれる)がこのFに交わるのだという藤下定理の図です。右にその説明となぜ1点に交わるのかを証明する論文が刻まれています。

このような難しい数学は社会の中にどう生かされているのでしょうか。3次元構造をコンピューターで可視化するには幾何学、ベクトル、三角関数などの数学の分野によっていると思います。体内の臓器や血管を複数の方向から透過して立体画像を生成する技術はこのような数学の基礎から成り立っているのでしょうか。

参考文献 『巴陵群像』岐阜県立斐太高等学校発行平成8年52頁



奥飛騨冬物語

(天候等で日程が前後する場合があります)

～北アルプスと露天風呂の里～

奥飛騨温泉郷は、平湯、福地、新平湯、栃尾、新穂高と趣の異なる5つの温泉地の総称です。各温泉地で冬しか味わえない魅力ある体験を楽しんでみてはどうでしょうか。

●平湯温泉

平湯大滝結氷まつり

- ・冬の寒さで巨大な氷柱に姿を変える「平湯大滝」をライトアップ。高さ64mもの氷柱は印象深く、そのスケールの大きさに圧倒。
- ・会期：2月15日(土)～2月25日(火)
- ・場所：平湯温泉・平湯大滝周辺
- ・ライトアップ：19時～21時



●福地温泉

福地温泉・青だるライトアップ

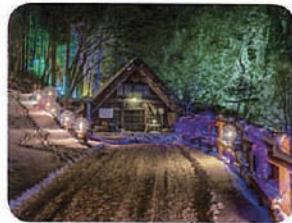
- ・福地温泉の山奥に現存する、青い氷の柱「青だる」を温泉街に再現。透き通るような青色が美しく、夜はライトアップで幻想的な雰囲気。
- ・会期：12月23日(月)～3月下旬
- ・場所：「福地温泉」バス停付近
- ・ライトアップ：17時～22時



●新平湯温泉

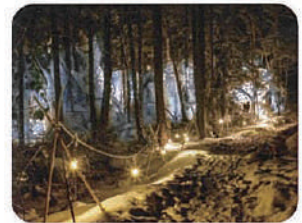
タルマかねこおりライトアップ

- ・凍てついた「たるまの滝」を幻想的にライトアップ。また、数万個のLED電球に装飾された光の砂防トンネルは映えスポットとして人気。
- ・会期：12月28日(土)～2月28日(金)
- ・場所：タルマの滝・親水公園一带
- ・ライトアップ：17時～21時30分



期間中の特別イベント

- ・青だる氷の散歩道ライトアップ(青だる裏側のライトアップ)
- ・会期：2月4日(火)～2月14日(金) 19時30分～21時
- ・郷土芸能「へんべとり」の実演
- ・会期：2月8日(土)～2月9日(日) 20時30分～



●栃尾温泉

洞谷雪桜ライトアップ

- ・洞谷の雪景色をLEDで鮮やかにライトアップ。まるで満開の桜を見るようです。栃尾温泉の公共露天風呂「荒神の湯」もお立ち寄りください。(要問合せ)
- ・会期：12月14日(土)～2月28日(金)
- ・場所：栃尾温泉 洞谷一带
- ・ライトアップ：17時～23時



●新穂高温泉

中尾かまくらまつり

- ・満天の星の下に、大小多彩な「かまくら」が登場。ほのかな灯りに浮かび上がる雪国情緒をお楽しみください。
- ・会期：2月1日(土)～2月10日(月)
- ・場所：中尾高原 白山神社境内
- ・開催時間：20時～21時
- ・(※駐車場が狭いためご注意ください。)



●奥飛騨冬物語スタンプラリーⅡ

温泉むすめ×奥飛騨温泉郷

- ・冬物語イベント会場での写真撮影と奥飛騨温泉郷内に設置されたスタンプを5個以上集めた方にオリジナルカードまたは湯の花をプレゼント。また、スタンプを15個集めた方には奥飛騨にちなんだ商品を抽選で5名様にプレゼント。
- ・会期：12月27日(金)～3月20日(木)



(お問い合わせ先) 奥飛騨温泉郷観光協会 ☎ 0578-89-2614
奥飛騨冬物語 <https://www.okuhida-fuyumonogatari.com>

イベント情報

(天候等で日程が変更する場合があります)

【冬の飛騨高山ライトアップ】

期 間 令和6年12月1日(日)～
令和7年3月2日(日)

場 所 午後4時30分～午後9時30分
中橋周辺

【氷点下の森 ライトアップ】

期 間 令和7年1月1日(水)～2月28日(金)

場 所 日没～午後9時
秋神温泉旅館・朝日町胡桃島

【飛騨大鍾乳洞 氷の渓谷】

期 間 令和7年1月1日(水)～3月10日(月)

場 所 午前9時～午後4時
※2月の毎週土曜日は日没から午後8時まで
ライトアップの演出あり

【氷と灯りの祭典2025】

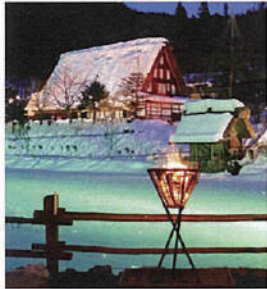
期 間 令和7年1月11日(土)～13日(月)

場 所 午前9時～午後9時
(12日は午後5時～)

【飛騨の里 冬のライトアップ】

期 間 令和7年1月11日(土)～2月28日(金)

場 所 午後5時30分～午後8時30分
入場料 大人300円・小人100円
上岡本町1



【第27回飛騨高山雛まつり】

期 間 令和7年3月1日(土)～4月3日(木)

場 所 高山市内各所

展示内容 土雛、古今雛、京保雛、江戸時代の御殿飾り、まゆびな等代々伝わるものや、愛らしいお雛様が多数展示されます。



【第27回飛騨高山端午の節句】

期 間 令和7年5月1日(木)～6月5日(木)

場 所 高山市内各所

展示内容 紙で作られた大きな鯉のぼりや、さまざまな五月人形などが展示されます。



【第6回飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり】

期 間 令和7年6月5日(木)～30日(月)

参加酒蔵 老田酒造店、二木酒造、平瀬酒造店、船坂酒造店、平田酒造場、原田酒造場

一般販売 3,000円

参加酒蔵で2種類の試飲
特製のエコバック他付



飛騨高山旅ガイド



Facebook



Instagram



X



YouTube

